

特別活動（生徒会活動）指導案

日 時： 平成18年11月2日（木）2校時

対 象： 全校生徒（男子12名 女子23名 計35名）

授業者： 教諭 浅川 ふさこ

1 題材 全校集会 「歌で感動させる鳥中生をめざして」

2 題材について

（1）題材観

学習指導要領では特別活動の目標に「望ましい人間関係を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り集団や社会の一員としてより良い生活を築こうとする自主的、実践的態度を育てる」と示されている。これは生徒一人一人が集団生活の中である目的に向かって取り組み、その中で互いに認め合い、高め合ったりしながら育まれていくものであると思う。この目標を達成するために様々な活動が本校の教育課程にも組み込まれているが、中でも日常生活向上や行事の充実を目指し活動している生徒会活動は生徒にとって大変身近なものである。

今年度の生徒会活動は「日常生活を大切にする鳥中生」「話し合いを大切にする鳥中生」「歌で感動させる鳥中生」の3つを大きな柱として取り組んでいる。その中でも「合唱」は特に集団づくりや、質の高い文化的な伝統づくりに適しているものであると考え、力を入れている。

中学生の合唱はその集団がいかにかまとまっているか、必死になっているか、お互いを信頼し合っているかが表れるものだと思う。同じ目標に向かって全員が必死にならなければ本当に良いものはできない。良いものを追い求めた時、取り組みの中で当然問題が生じてくる。その問題にどう向き合い、どう乗り越えていくかを考え、悩み、葛藤するという経験をし、創り上げた時の喜びは格別なものではないだろうか。一人一人にかかる負荷や皆が同じ瞬間に感じ合える喜びを考えると、合唱の取り組みは生徒達の実態に必要なものであると考えている。そして、「人数が少なくてもこれだけのことができるのだ」という自信を持たせ、それが自分たちの学校の伝統であると胸を張って言えるようになってほしい。そのような願いを込め、合唱を今年度の生徒会活動の重点とし、取り組んでいる。

（2）生徒観

明るく素直な生徒が多く、諸活動に意欲的に取り組んでいる。しかし、人間関係が固定化され、遠慮し合ったり、または甘え合ったりしてしまい、お互いを高めようとする意欲に欠ける部分も見られた。「昔からの自分のイメージを今さら変えようと思わない」「自分の考えを改めて言わなくても特に困らない」等の理由から、公の前で自分の考えを進んで発表したり本音を言う生徒は少なかったのが数年前の実態である。また、与えられることが多く、自分で物事を考えることが少なかつたため、面倒なことからは避けようとする傾向が見られた。

そこで、その状況を打破する突破口として、昨年度の生徒会行事「3年生を送る会」では「合唱」に焦点を当てた。「合唱」は決して一人で創れるものではなく、お互いに信頼し合いながら、切磋琢磨していかなければいけない。「一人一人の必死さがひとつになった時に素晴らしい合唱になる」という方針で取り組みを進める中、徐々に多くの生徒が本気になり、悩み、「みんなで創ることの

価値」や「話し合うことの必要性」を痛感したようであった。この経験をした時期から生徒に様々な変化が見られるようになった。中でも、合唱を楽しんで歌うようになったこと、自分の意見を進んで話すようになったことは大きな進歩だったと思われる。現在は全体の場で、ほぼ全員が拳手で発言できるようになった。しかし他の意見を聞いてさらに考え、自分の意見を深めたり、話し合ったこと全てを活動に生かし切るという段階には達していない。

(3) 指導観

今年度の生徒会活動は4月の生徒総会から始まり、いろいろな場で「意見交流・感想交流」「話し合い」を盛り込んだ集会活動を中心に行ってきた。活動に入る前には必ず、今の実態はどうか、自分達がつけたい力は何か、そのために必要なことは何かを考え、話し合うというスタイルをとり続けてきている。特に合唱活動については日常的に取り組み、最終的に重点である「感動させる合唱」を生徒が自分達の手で創り上げることが出来るように「意見交流・感想交流」や「話し合い」を大切にしてきた。

本題材は集団づくりをねらったものである。合唱の取り組みを通して望ましい集団づくりに必要な自分の意見を相手に伝えること、相手を思いやり、認め合うこと、高め合うことに近づくことを願い指導してきた。前期の合唱活動の本格的な総括は生徒総会の場であると考えている。

本時は前々週に行われた文化祭の総括も含め、4月からの合唱活動を振り返り、残る前期の合唱活動に向けて考えさせる場としたいと考えた。自分達が合唱活動をどのように取り組んできたのか、合唱活動を通してどんなことを学んできたのか、そしてこれから「歌で感動させる鳥中生」に近づくために自分達に必要なものは何なのか、どのように取り組んでいくのか等を考えさせ、これからの合唱活動への意欲を持たせていきたい。また、それが合唱活動のみではなく、全ての生徒会活動に繋がっているのだということに気付かせる場としたい。

3 今年度の合唱活動指導計画・経過(日常的な執行部会、パート練習等は省略、主な話し合いの場は*)

月日	集 会	*主な話し合いの場
4/28	生徒総会	*重点「歌で感動させる鳥中生」承認
5/25	合唱推進委員会	*議題「一学期合唱集会のねらいとは？」
6/6-15	合唱推進委員会 選曲、集会に向けての準備 要項作成	
6/22	全校集会	*一学期合唱集会要項審議
6/23	学級会	*議題「学級合唱について」
6/23	全校集会	*議題「どんな合唱にしたいか」
6/24 ~	全校合唱練習スタート	
7/4	生徒会執行部	*「輝翔祭(文化祭)のねらいとは?、つけたい力」
7/7	一学期合唱集会 (御返地中学校生徒会来校) 全校合唱、各学級合唱発表	*意見交流 合唱の取り組みについて 御返地中学校と意見交流
7/10	合唱推進委員会	
7/18	全校集会	*一学期合唱集会の反省
7/20 ~	学級会	*第一回輝翔祭実施要項審議
7/22-8/2	合唱推進委員会	*議題「輝翔祭の合唱について目標、選曲」
8/17 ~	学級合唱練習スタート	全校合唱選曲
9/6 ~	合唱推進委員会	*議題「輝翔祭の全校合唱で目指すもの、どんな合唱にしたいか。そのためにどんな取り組みが必要か」

9/18 ~ 9/21,22 日	合唱推進委員会 合唱推進委員会	* 第二回輝翔祭要項合唱部門作成 * 議題「話し合いを深めるためには どうしたら良いか」 * 第二回輝翔祭要項審議、合唱部門提案
9/25 9/26 ~ 10/ 5	全校集会 全校合唱練習スタート 学級合唱中間発表会	* 意見交流 * 各学級反省会 * 議題「今日までの反省、輝翔祭までどのように取 り組んでいくのか」
10/12 ~ 10/13 10/18 10/19	全校合唱練習 合唱推進委員会 3学年学級会 3学年パートリーダー、執行部、 合唱推進委員長合同会議 全校集会	* 「お互いに聴き合いアドバイスし合おう」 * 議題「来週一週間で何が出来るか？」 * 議題「感動する合唱とは？」 * 議題「全校合唱はこのままでいいのか」 * 議題「今の合唱について・これからできることは 何か」
10/21 10/22	輝翔祭前決起集会 輝翔祭 合唱発表 輝翔祭後、全校集会	* 明日はみんなで頑張ろう * 今日までのみんなの頑張りを讃え合おう
10/25 10/26 11/ 2	輝翔祭作文 輝翔祭学級総括 全校集会	* 「歌で感動させる鳥中生をめざして」

4 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・それぞれの立場でしっかりと運営し、全体の向上をねらいにして意欲的、かつ積極的に参加することができる。
- ・取り組みを振り返り、「歌で感動させる鳥中生」に近づくために何が必要かを考え、自分の言葉で発言することができる。

(2) 展開 (学習活動 表現の項目 ・指導上の留意点 評価)

段階	集会次第	生徒の活動	指導上の留意点・評価
導入 15分	集合、整列 1, 開会 2, 生徒会長から 3, 活動を振り返って 4, 輝翔祭の合唱取 り組みで学んだこと	執行部 今日の集会のねらいを全体に伝える。 執行部が今年度の合唱の取り組み を振り返りながら全体に伝える。 輝翔祭の合唱の取り組みで学んだ ことを各学級の室長が発表する。	コの字隊形 ・堂々と話させる。 これまでの取り組みを想起させ るように映像も取り入れ発表させ る。(研究仮説1) 室長に学級総括を大きい声で堂 々と発表させる。(研究仮説1) ・学級総括発表を自分の意見を持 ちながら聞くように議長に呼びか けさせる。
	5, 話し合い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「歌で感動させる鳥中生」に近づくためには、 どんなことが必要だろうか</div>		・議題について各自が真剣に考え、 短時間で積極的に発言するように 議長に呼びかけさせる。

展開	30分	6, 合唱発表	<p>これまでの取り組み、輝翔祭の総括をもとに、これから自分達の合唱の取り組みについて真剣に考え、自分の考えを自分の言葉で発言する。</p> <p>議長は様々な視点から出た意見をまとめ、方向性を示す。 これからの合唱活動を皆で頑張っていこうという気持ちを込め、発表する。</p> <p>移動の指示（議長）</p> <p>合唱推進委員長は今日の合唱の目標を皆に伝える。</p> <p>目標を意識しながら全校で合唱をする。</p> <p>合唱推進委員長は今日の合唱について評価し、次からの取り組みの視点を発表する。</p> <p>移動の指示（合唱推進委員長）</p>	<p>予想される意見としては大きく分けると次のようなものが考えられる。（研究仮説3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちの面から ・ 技術の面から ・ 態度面から ・ 議長に出された意見を整理しながら進めさせ、最終的には今までも大切にしてきたこと、これからも大切にしていきたいことを確認し、話し合いを生かした発表をしようと元気に全体に呼びかけさせる。 ・ 合唱推進委員長に話し合いで出た意見の中から今すぐできることを今日の発表の目標として設定させる。 ・ 合唱推進委員長に具体的に発表について評価させる。
		7, 生徒会長から 8, 先生から 9, 閉会	<p>今日の集会について</p> <p>執行部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の集会についてねらいに立ち返り感じたことを生徒会長の立場で堂々と発表させる。 ・ 集会のまとめ

5 具体の評価基準（十分満足できる状態）

関心・意欲・態度
技能・表現

集会に積極的に参加し、全校的な視点で意見を発言することができる。
相手の意見を尊重しながら、建設的な意見を発言することができる。